

研修科目	幼児保育・教育
分野	教育（幼児教育、日本伝統文化・スポーツ、継承教育等）
コース No.	NL9
研修種別	長期（91 日以上、9 か月以内）
上期・下期	下期
来日日	10/6
帰国日	2/1
提案団体	出雲市
提案 URL	https://www.city.izumo.shimane.jp/
現職・資格・知識	・ 幼児教育や保育についての基礎知識あるいは関心があること ・ 子どもとのふれあいが好きで、終日子どもと楽しく過ごせる人
経験年数	実務経験 3 年以上
日本語能力	N4
ポルトガル語・スペイン語能力	ポルトガル語（母語）
① 目標	日本における幼児教育を理解し、ブラジルとの違いを知り、日本の幼児教育をブラジルで実践できるようになる。また、将来的には今後の日本とブラジルの懸け橋になることを目指す。
② 成果	1.（主に幼児教育における）日本語コミュニケーション能力を習得する。 2. 日本の幼稚園でのクラス補助業務を理解し、その手法を習得する。 3. 日本の幼稚園での園外活動を理解し、その手法を習得する。 4. 登降園時の保護者と職員とのコミュニケーションの重要性を理解し、実践できるようになる。
③ 計画（内容）	講義：日本の幼稚園でのクラス補助業務、園外活動の計画立案、保護者とのコミュニケーション等 実習：幼稚園等でのクラス補助、園内外での活動への参画、登降園時の保護者と職員とのコミュニケーション支援
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	出雲市の幼稚園は、教員免許を持った経験豊富な職員により運営されており、日本の幼児教育を体現した学校であるうえ、地域や保護者との交流活動により、日本の文化、伝統的な生活様式などに触れる機会ともなっている。研修生にとって保育を通じた研修が、深い日本理解に通じ、日本とブラジルの相互発展に資する人材育成の中心となることができる。
備考	